

日時 : 2009 年 8 月 21 日(金) PM 1:00 ~ PM 5:00  
場所 : 塗料報知新聞社 会議室  
出席者 : 窪井氏(久保井塗装工業所)、小泉氏(小泉塗装工業所)、小林氏(オーウエル)、  
内山氏、松本氏、白井氏(東和酵素)、杉山氏(アネスト岩田)、島田(旭サナック)  
アドバイザー:坂井氏(日本工業塗装協同組合連合会技術顧問)  
オブザーバー:神田氏(日本工塗連)  
持田氏(モチダ製作所)、高橋氏(トップ工業)  
事務局:有馬弘純氏(塗料報知新聞社) 13名 敬称略

\*\*\*\*\* 議 題 \*\*\*\*\*

1. 高度化協議会(環境技術分科会)活動の普及

(1) 工塗連会員の参加

① 埼玉工塗連会員の参加 (小泉氏対応)

今回は埼玉工塗連の 2 名にご参加、関連テーマなどへご意見を頂き議論がされました。

株式会社モチダ製作所 代表取締役 社長 持田様

株式会社トップ工業 代表取締役 社長 高橋様

② 工塗連全体

8/20 工塗連理事会で協力の依頼がされました。(神田氏、窪井氏報告)

(2) 業界関係の参加(予定)

① 独立行政法人海洋研究開発機構 渡邊様(2009.10CEMAシンポジウム講演)の参加希望

塗装関連団体として、VOC発生と地球や人への影響調査を検討したく、VOCがもたらす悪さ加減を知る上で一度参加を依頼する方向で進める。次回第 16 回参加の調整・確認を内山氏にお願いする。

② 日塗工 久米専務理事の参加

・工業塗装全般(水性、溶剤、粉体、前処理)の動向をテーマに塗料側の VOC 削減の取組み、環境対応塗料の開発などを意見交換を希望。

・9 月第 16 回分科会参加の日程調整を神田氏にお願いする。(担当 神田氏)

・各塗料メーカーへの参加依頼は、久米専務理事参加の後に実施を予定する。

(3) 展示会出展

SURTECH 2009 (2009.9.16~18) へ活動の紹介 (有馬氏)

・セミナーのパネル 4 枚を展示。有馬氏へパネル発送を松本氏に依頼した。

・セミナーで紹介した高度化協議会のパワーポイント資料を展示する。有馬氏へデータ送る。

(4) 地方セミナー

・愛知工塗連より 2009 年 9 月開催は他の行事と重なり集客が望めず、また準備に移行できないため延期。(8/20 工塗連理事会審議事項 神田氏、窪井氏報告)

・2010 年 2 月が次候補より、調整と対応の可否を次回第 16 回に検討する。

・要望が愛知工塗連より 2010 年 6 月に第 2 回セミナー開催を企画する場合は、地方開催も視野に入れた企画を検討してほしいとのことより、今後検討する。

## (5) 情報収集(フィードバック)について

セミナーなど情報発信した後、意見や依頼、要望など情報(フィードバック)を収集するしくみが無いことについて意見交換され下記の案が提示された。

- ・CEMA、工塗連のHPで書き込み欄など充実させる取組みが必要。
- ・各工塗連連合の会議が毎月開催されているので、協議会より会議での検討テーマを打診し、その結果を検討する。

(検討テーマ例)

○6月のセミナーに対するご意見

発表に関して具体的な作業として活用されておりますでしょうか。など

○塗装工程における課題、業界として必要な取組みについて

具体的な項目(何のコスト削減、安全、標準化、産廃問題・・・)有無。など

○分科会への参加希望

- ・工塗連機関紙を通じ、再度アンケートを個別に行う。

## 2. 分科会の活動

### (1) 現在の活動テーマについて

#### ① 塗料スラッジのリサイクルについて

- ・ペレット成型へ協力された(有)ミッド殿への報告レポートの紹介。(島田報告)
- ・スラッジ提供を検討するより、スラッジ乾燥工程の確立を先につめる必要があるとし、次回第16回に桂精機 澤居氏より経過報告をお願いすることとした。(連絡担当 島田)

#### ② 塗料転換について

- ・具体的なテーマを作り上げるためには、久米専務理事や塗料メーカーと意見交換など実施してから検討することが望ましいとし、塗料メーカー参加を進める。

#### ③ 洗浄性

- ・第一塗装殿のその後の経過など次回第16回に広瀬氏より報告をお願いすることとした。

(連絡担当 島田)

### (2) 新分科会について

#### ① ゴミ・ブツ対策

ブースや乾燥炉など清掃の必要性や静電服、ガンカバーなどについて意見交換された。現在東和酵素殿より別件でマニュアル作成が進められており、年内に完成予定との事からそのマニュアルを紹介して頂くこととした。(担当 内山氏)

#### ② 産廃の出し方

産廃の流れや実情などを示したものの必要性が述べられた。これもマニュアル化することで効果がある取組みとし、今後検討していくこととした。

#### ③ 安全対策

・知っているようで実施されていない塗装工程でのアース不良における災害など意見が出された。CEMA と工塗連で進めているリスクアセスメントを参考に分科会活動として実施するかを、次回第16回に平野氏より意見を頂くこととした。

・また次回では、『静電粉体塗装の安全対策』が昨年 CEMA より発行され、これを各参加者に確認してもらうため、出版物準備を平野氏にお願いする。

#### ④ 塗装作業のムダ・ムラ排除

・まだ多くは溶剤塗装が主流。その溶剤塗装の正しい認識を普及することもテーマとして有効。一般向けではなく、具体的な事例集や塗装指導の必要性について意見があった。

・次項「行政の動向」でアドバイザー制度など具体的な活動の展開があるなど報告した。(島田)

### 3. その他

#### (1) 行政の動向

##### ① 関東経済産業局

・6月セミナー参加の遠藤様から分科会活動への期待と予算認可された取組みについての情報  
技術アドバイザー、セミナー講師の依頼あり。

1. 塗装アドバイザー:2名 (坂井先生、アネスト岩田殿)

2. 講師:第一塗装の広瀬様(関東で一箇所)

の打診が平野氏よりメール案内されています。

##### ② VOC規制

・坂井先生より来年度より法規制の強化の可能性について報告された。

自主取組みの成果が伸びず、削減目標に到達しない可能性もあり、法規制対象範囲の拡大など  
行政にて検討されている内容を頂いた。

### 4. 次回予定

#### 第16回 環境技術分科会

2009年9月18日(金) 午後13時<sup>※1</sup> ~ 塗料報知新聞社会議室

※1:日塗工 久米専務理事、独立行政法人海洋研究開発機構 渡邊様の参加が決定の場合、  
午前10時開催を予定しています。

#### <予定議題>

- ・中部地方開催セミナー(2009.2開催)の検討
- ・リスクアセスメントと『静電粉体塗装の安全対策』の紹介(平野氏)
- ・スラッジ乾燥工程の報告(澤居氏)
- ・洗浄作業の報告(広瀬氏)

下記は予定が決定次第に行います。

- ・久米専務理事との意見交換
- ・独立行政法人海洋研究開発機構 渡邊様の講演と意見交換

————— 以 上 —————